NTR
X
悪堕ち
「つく、この卑怯者!!」
「私の全ては閣下のために♥」
さいおんじ ありさ
西園寺 有紗の屈服!!
ごめんなさい、私もうアナタじゃダメみたい♥
フルカラー漫画　本編72P

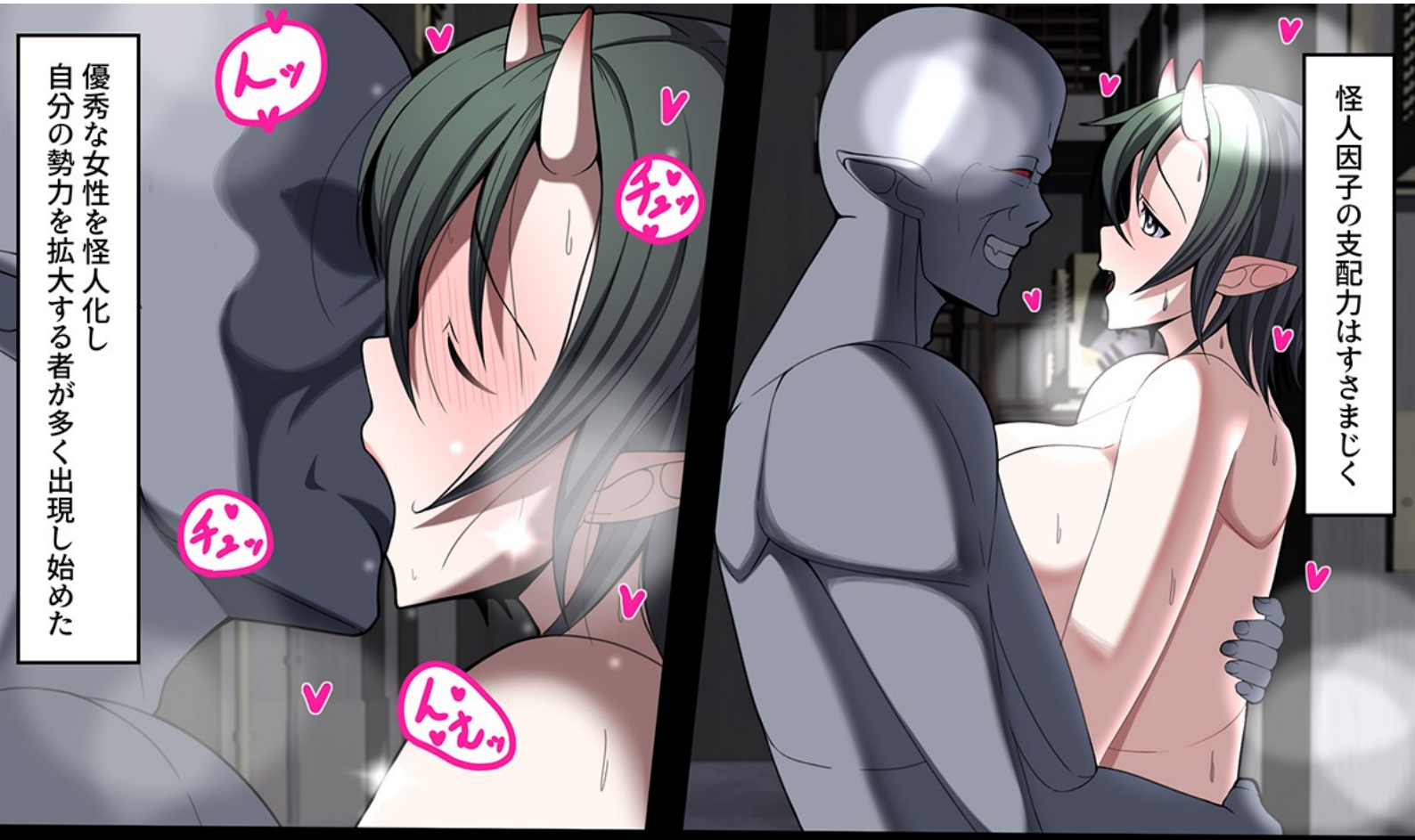
さいおんじ ありさ
西園寺 有紗の屈服!!
ごめんなさい、私もうアナタじゃダメみたい♥

お願いっ！許してっ
私には夫もっ、子供もいるのっ！
ダメっ！
へへっ！そいつは丁度いい
繁殖にもってこいなメスじゃねーか！
きっちり怪人化させてやるから
くだらねぇ事はさっさと忘れちまいなっ！
誰かっ！助けてっ！
ハッ
アッ
ビクッ
ヌチュッ

怪人化
身体がっ！
ドクン
ビクッ
ハッ
ドクンッ
熱いっ！
メスの個体数が少ない怪人が身に着けた繁殖方。
人間の女と性行為を行い体内に「怪人化を促す因子」を注入する
注入量が一定量を超えると因子が発現し
熱いっ！
ドクン
ああああああっ！
ドクン
短時間で人間を怪人化させる。

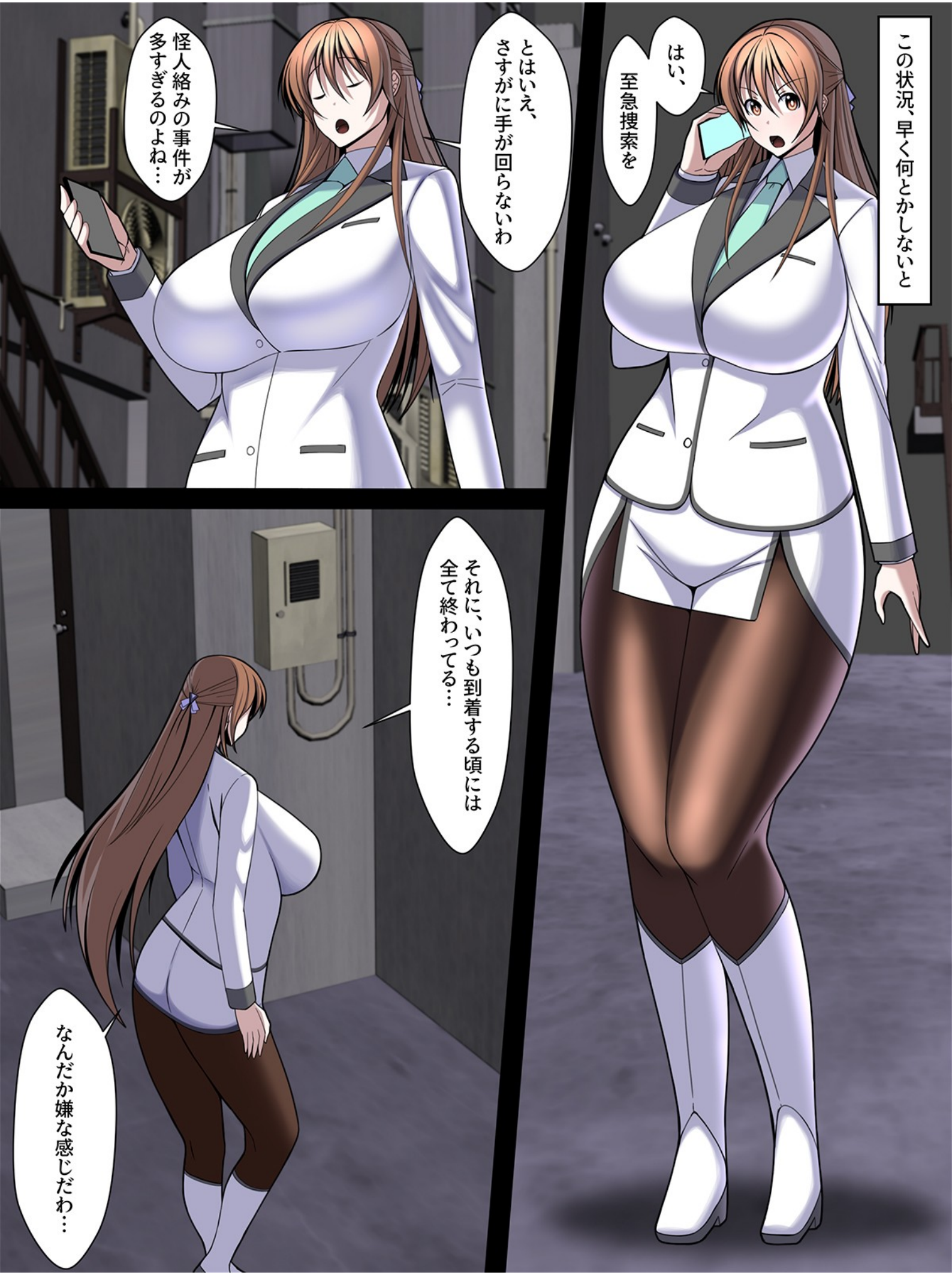
怪人因子の支配力はすさまじく

優秀な女性を怪人化し
自分の勢力を拡大する者が多く出現し始めた

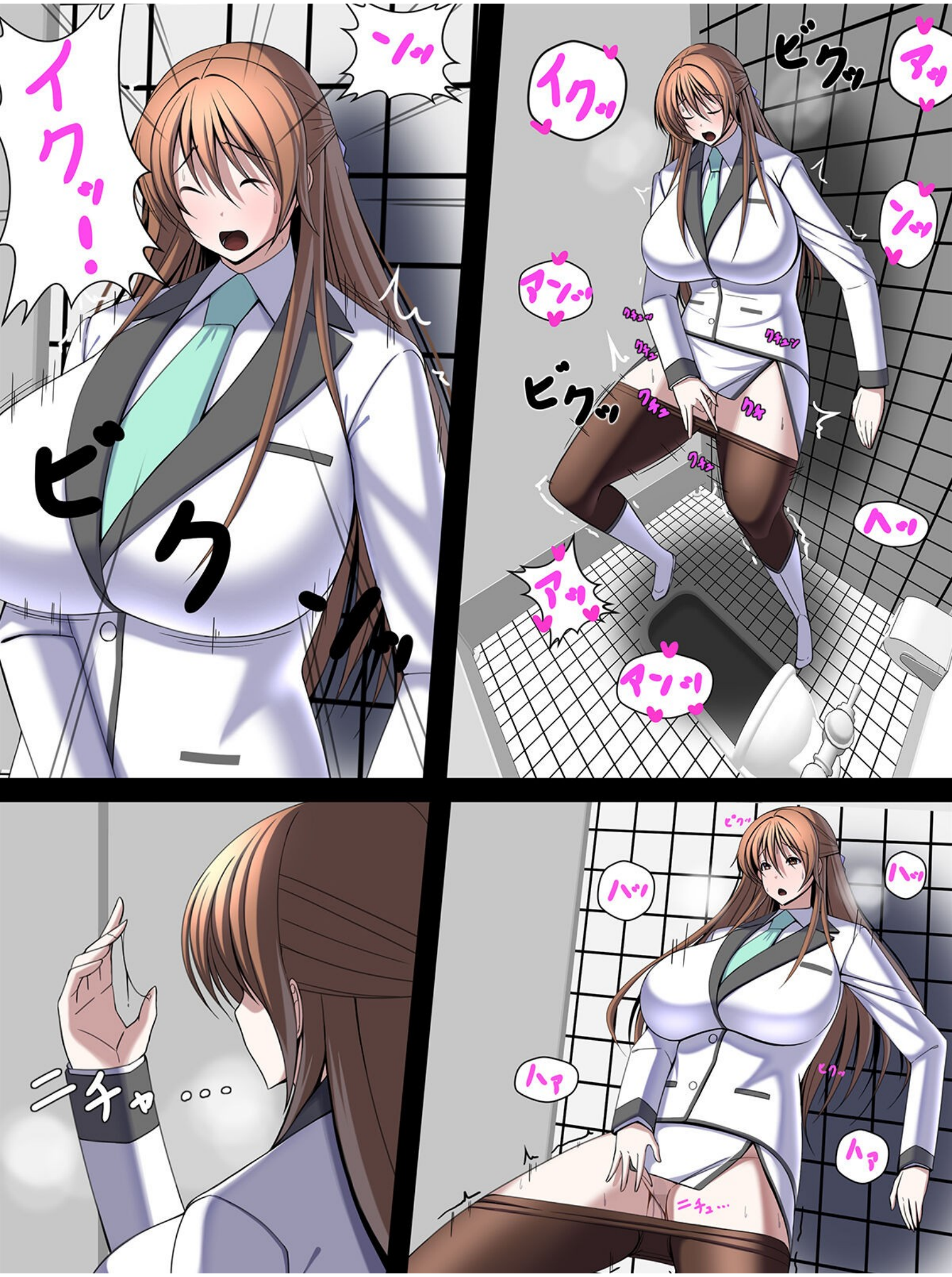


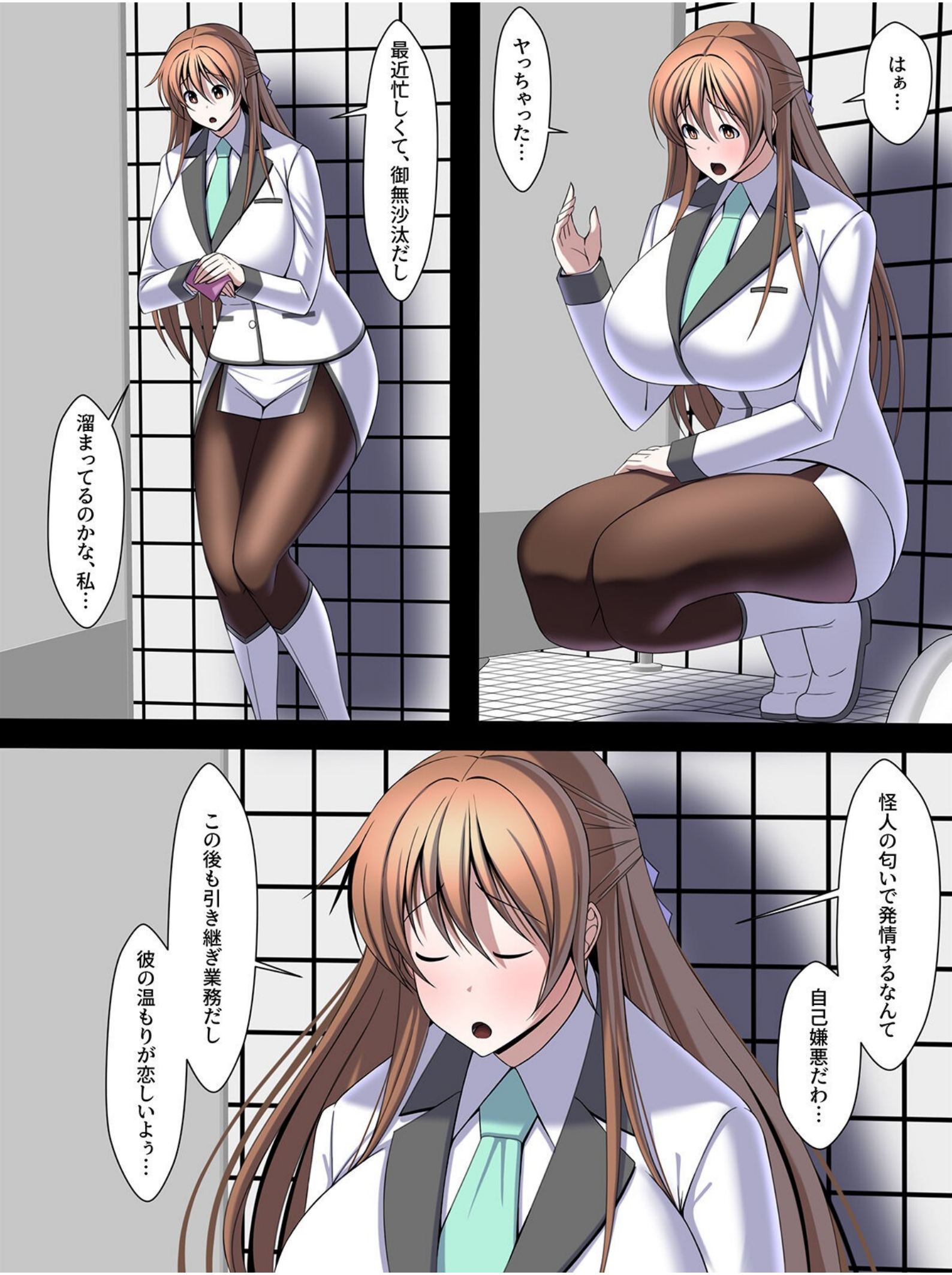
増え続ける女性怪人化事件

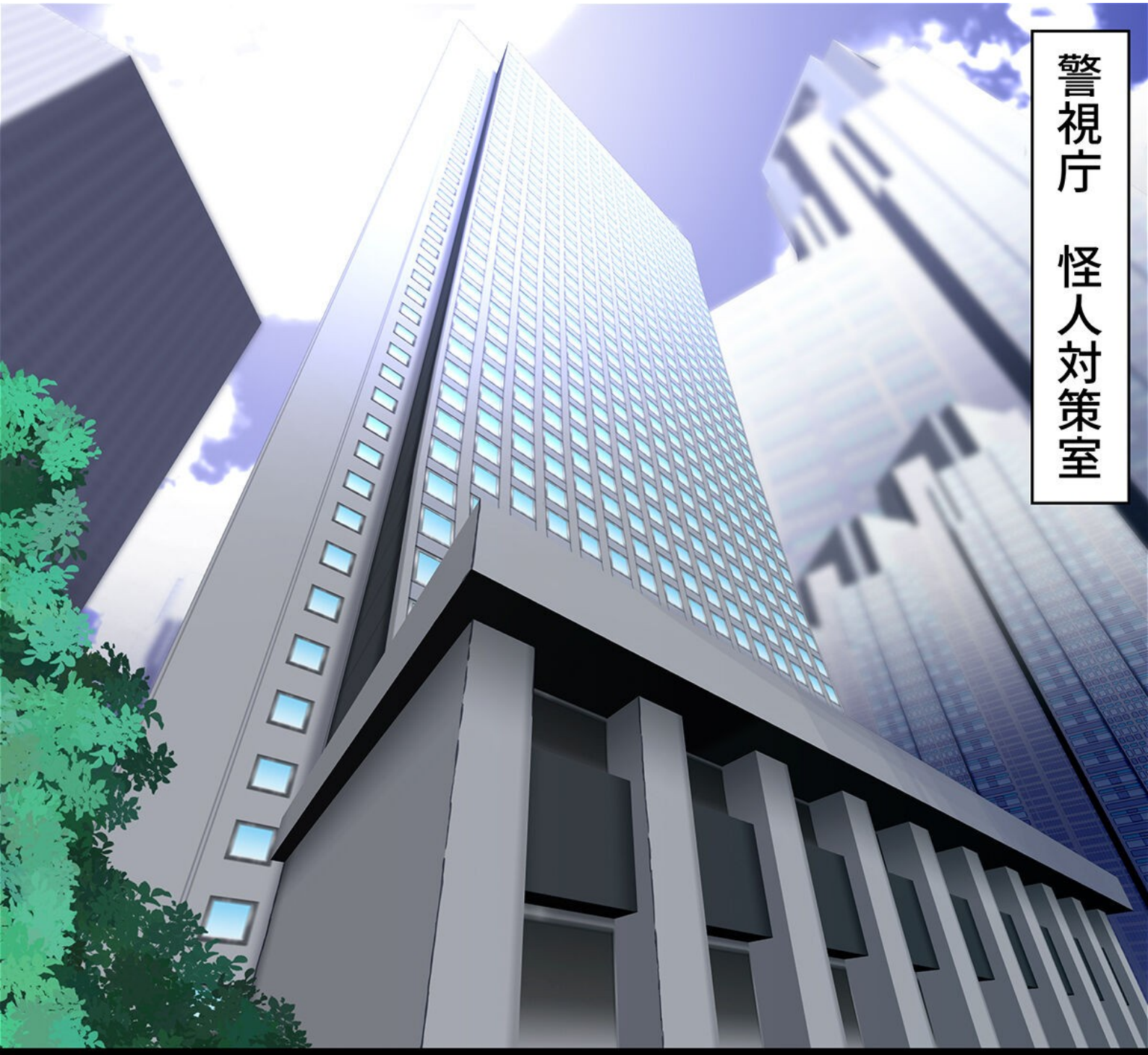
しかし、今のところ治療法も改善策もない…


この状況、早く何とかしないと
はい、
至急捜索を
とはいえ、
さすがに手が回らないわ
怪人絡みの事件が
多すぎるのよね…
それに、いつも到着する頃には
全て終わってる…
なんだか嫌な感じだわ…

うっ…
まだ雄怪人の因子が残ってる…
モワ…
っ最悪！
早く離れないとっ！
はぁっ、はぁっ
嘘でしょ…
少ししか吸い込んでない筈なのに
脚が…身体に力が…

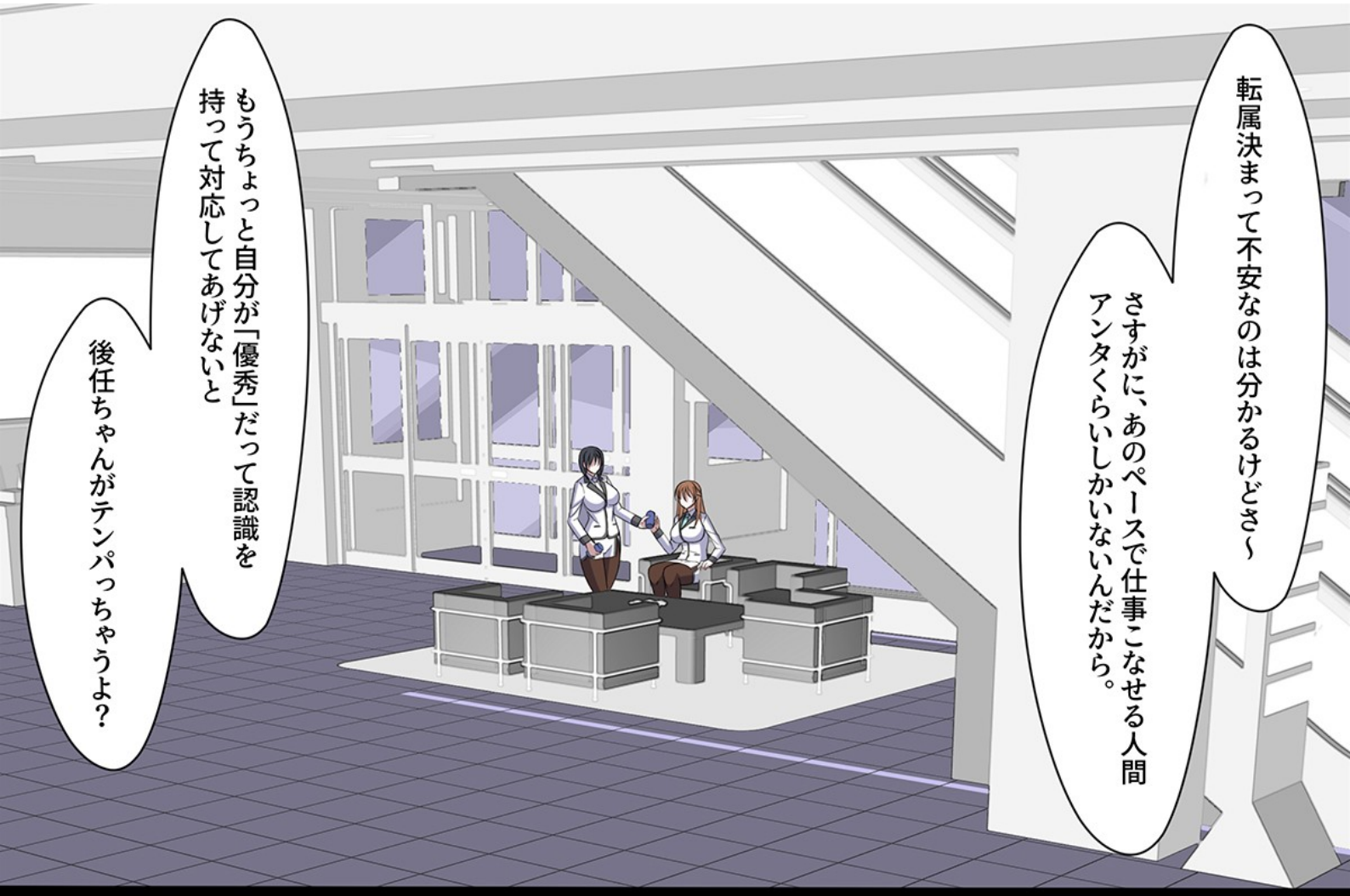

イクッ
ビクッ
アッ
イクッ
ンッ
アンッ
ビクッ
ヘッ
アッ
アンッ
ビクン
イクッ
ンッ
ニチャ…
ハッ
ハッ
ハァ
ハァ
ニチュ…

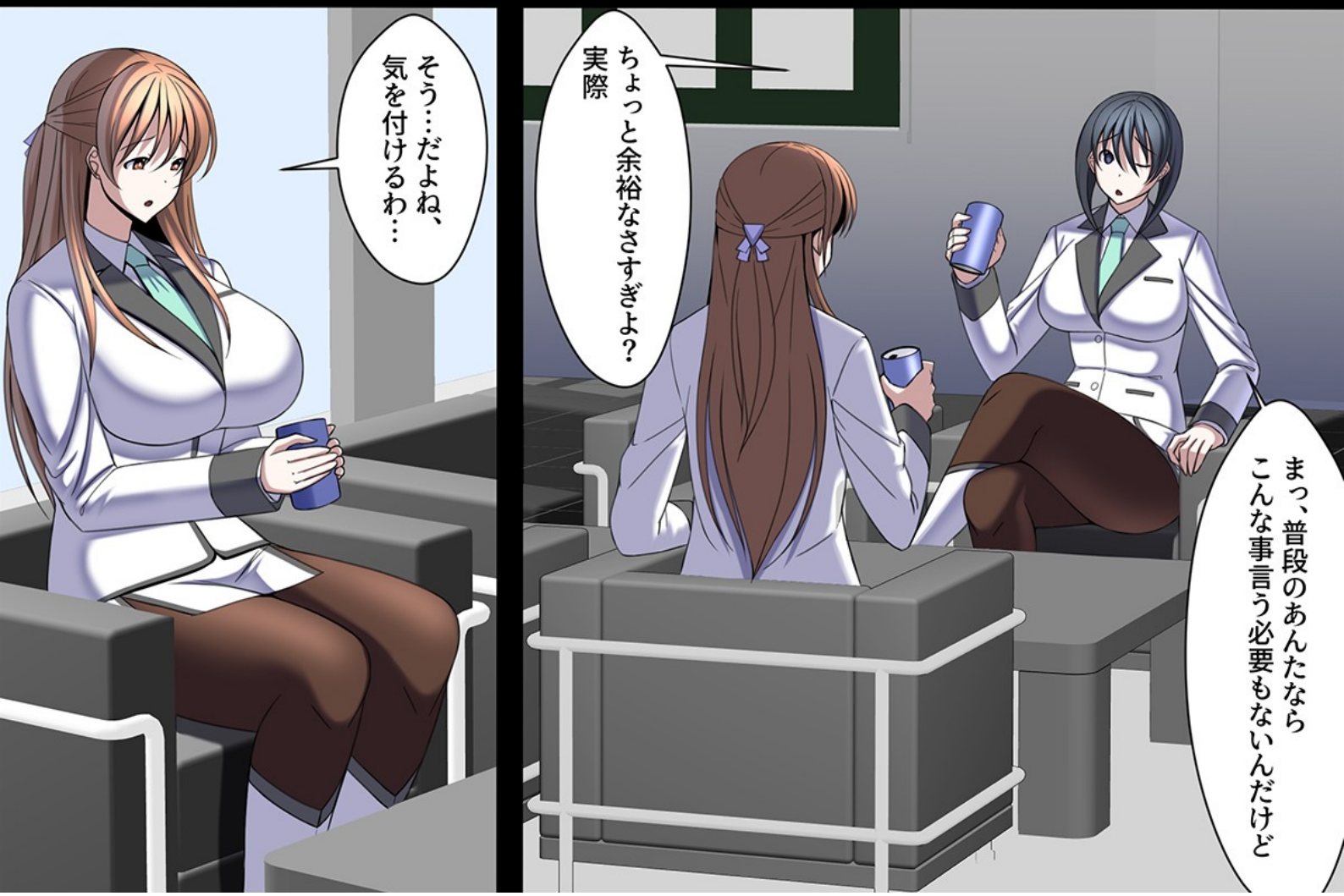

はぁ…
ヤっちゃった…
最近忙しくて、御無沙汰だし
溜まってるのかな、私…
怪人の匂いで発情するなんて
自己嫌悪だわ…
この後も引き継ぎ業務だし
彼の温もりが恋しいよぅ…


警視庁　怪人対策室

カチ
カタ
カタ
カタ

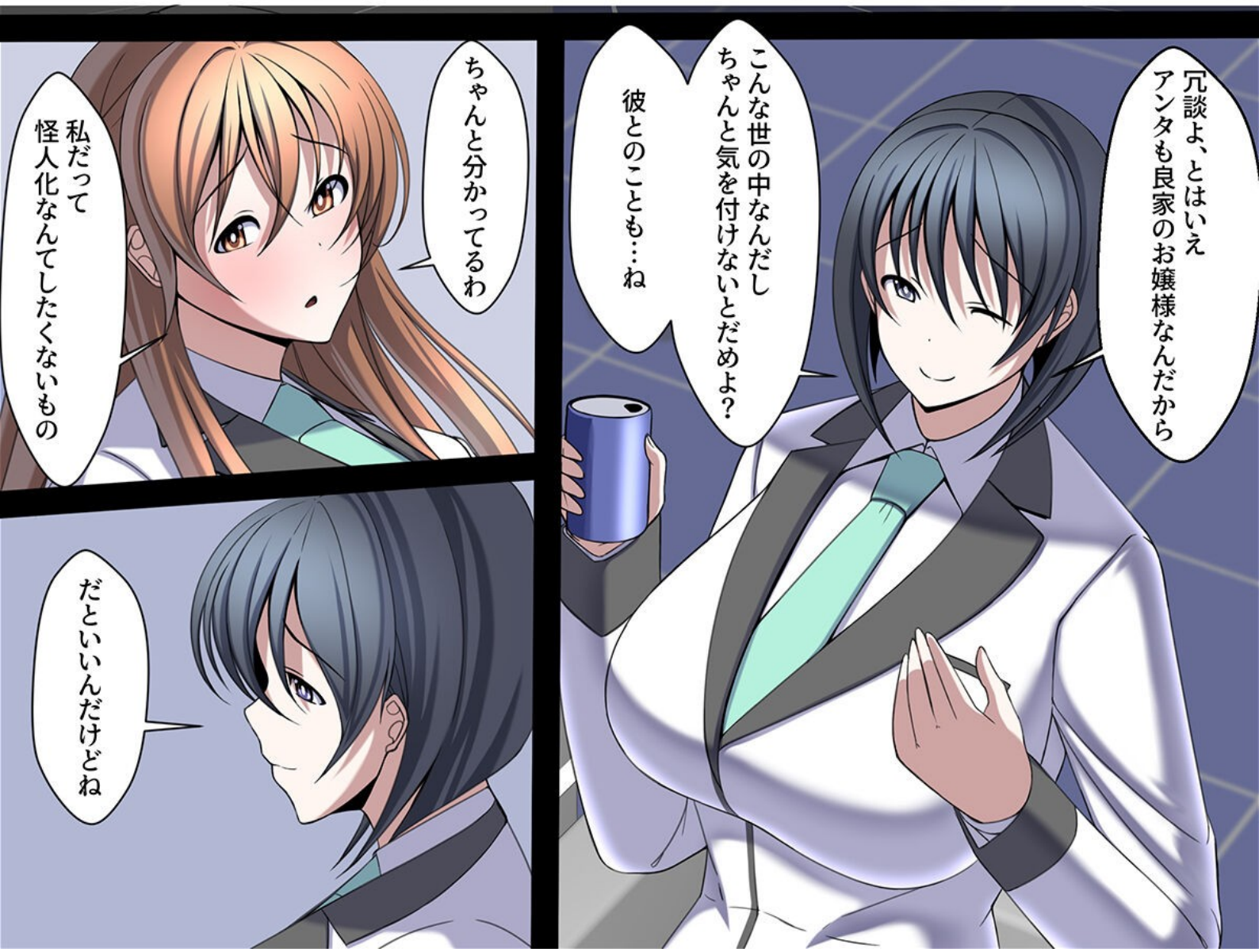
あっ！
ほらそこ、別の部隊とブッキングしてるわ
警告をよく見て。
落ち着いて。
私もフォローするから
すみません
先輩…
いやぁ、精が出ますな
とはいえ、
ちょっと頑張りすぎではありませんかな？
きゃっ！
ちょっと待ってミサキっ
危ないからっ！
ガタッ

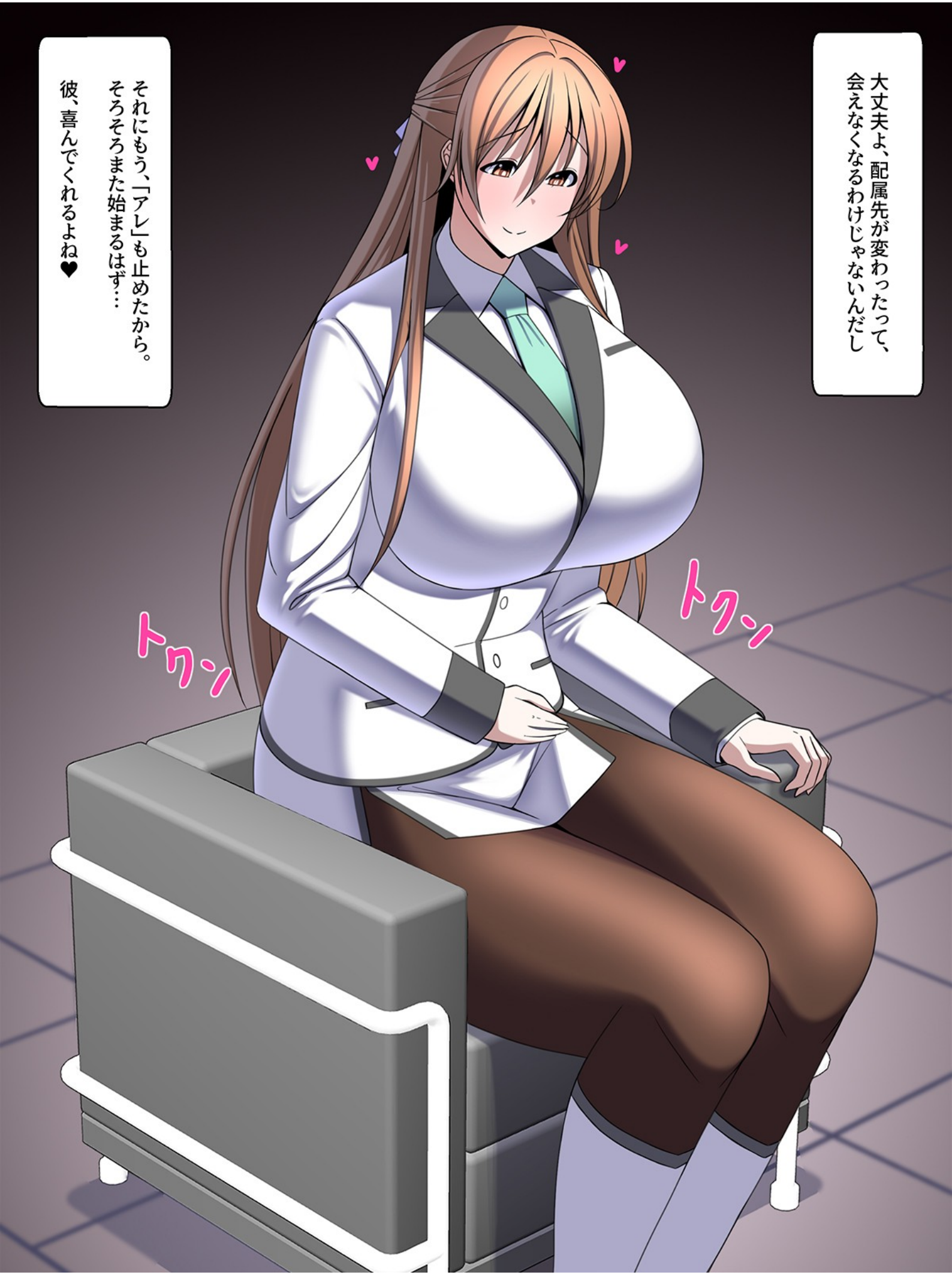

転属決まって不安なのは分かるけどさ～
さすがに、あのペースで仕事こなせる人間アンタくらいしかいないんだから。
もうちょっと自分が「優秀」だって認識を持って対応してあげないと
後任ちゃんがテンパっちゃうよ？

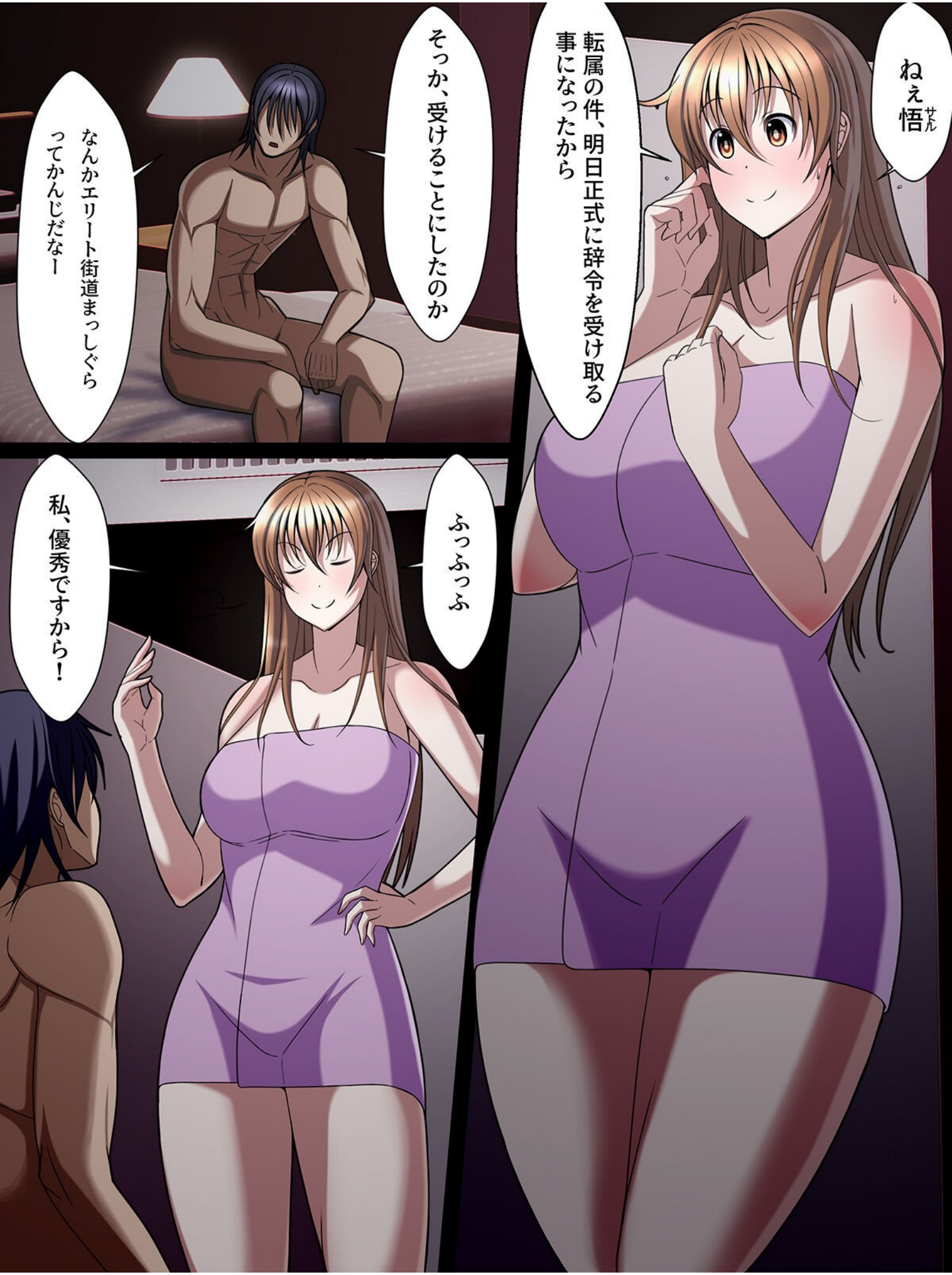

まっ、普段のあんたならこんな事言う必要もないんだけど
ちょっと余裕なさすぎよ？実際
そう…だよね、気を付けるわ…

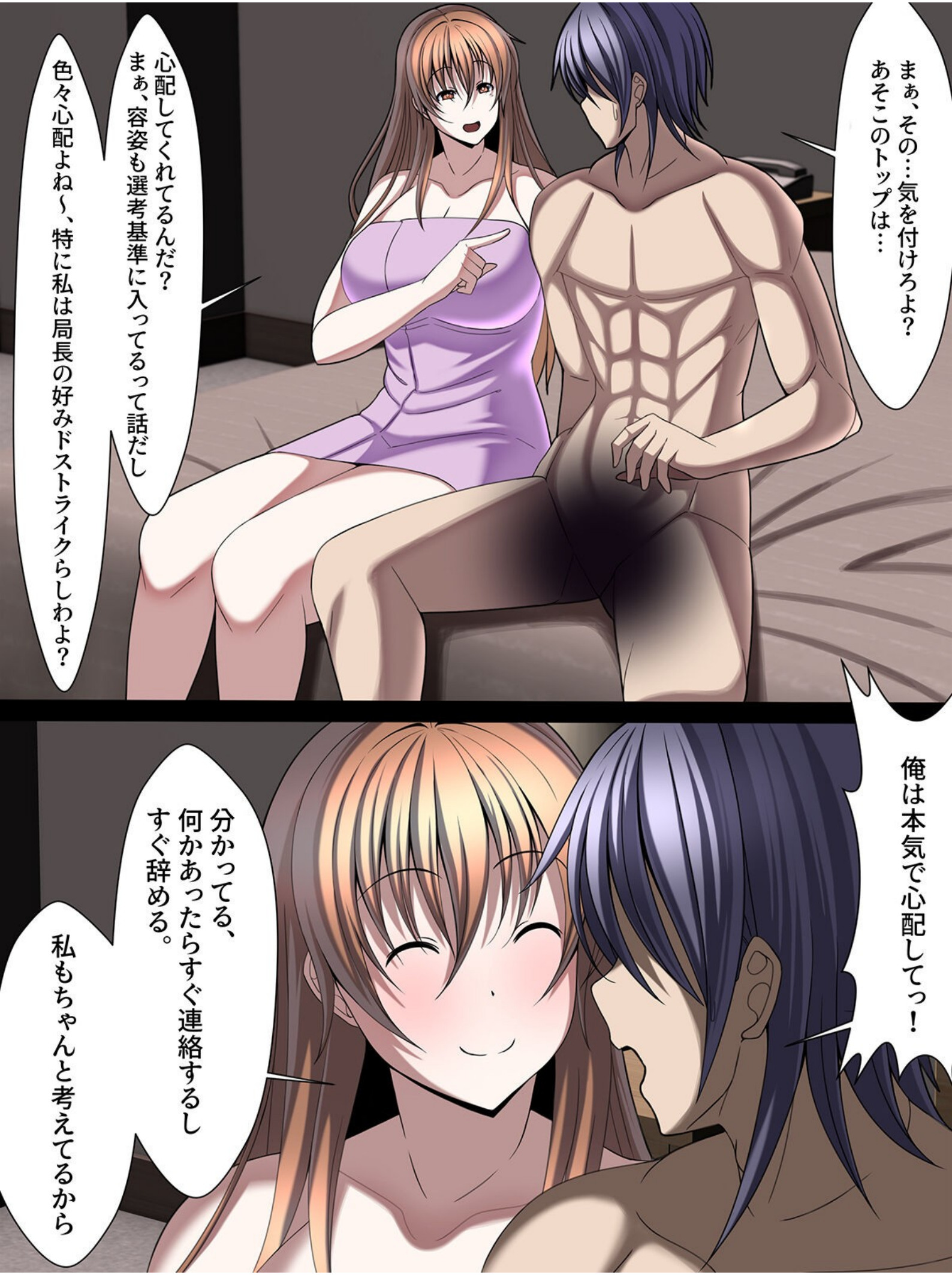
配属先が配属先だしね、
気持ちはわかるわ。
「怪人保護課」って…そりゃ女性型は殆ど元人間だし
保護するのは分かるけど…
さすがに怖いわよねぇ
クピ。
話によると、トップが変わってから
優秀な隊員を引き抜きまくってるらしいわよ
しかも全員女性だって。
噂では容姿や家柄なんかも選考基準に入ってるとか
なんかイヤラシイ感じだけど、
不思議なことに配属された女性隊員から不満は聞かないのよね。

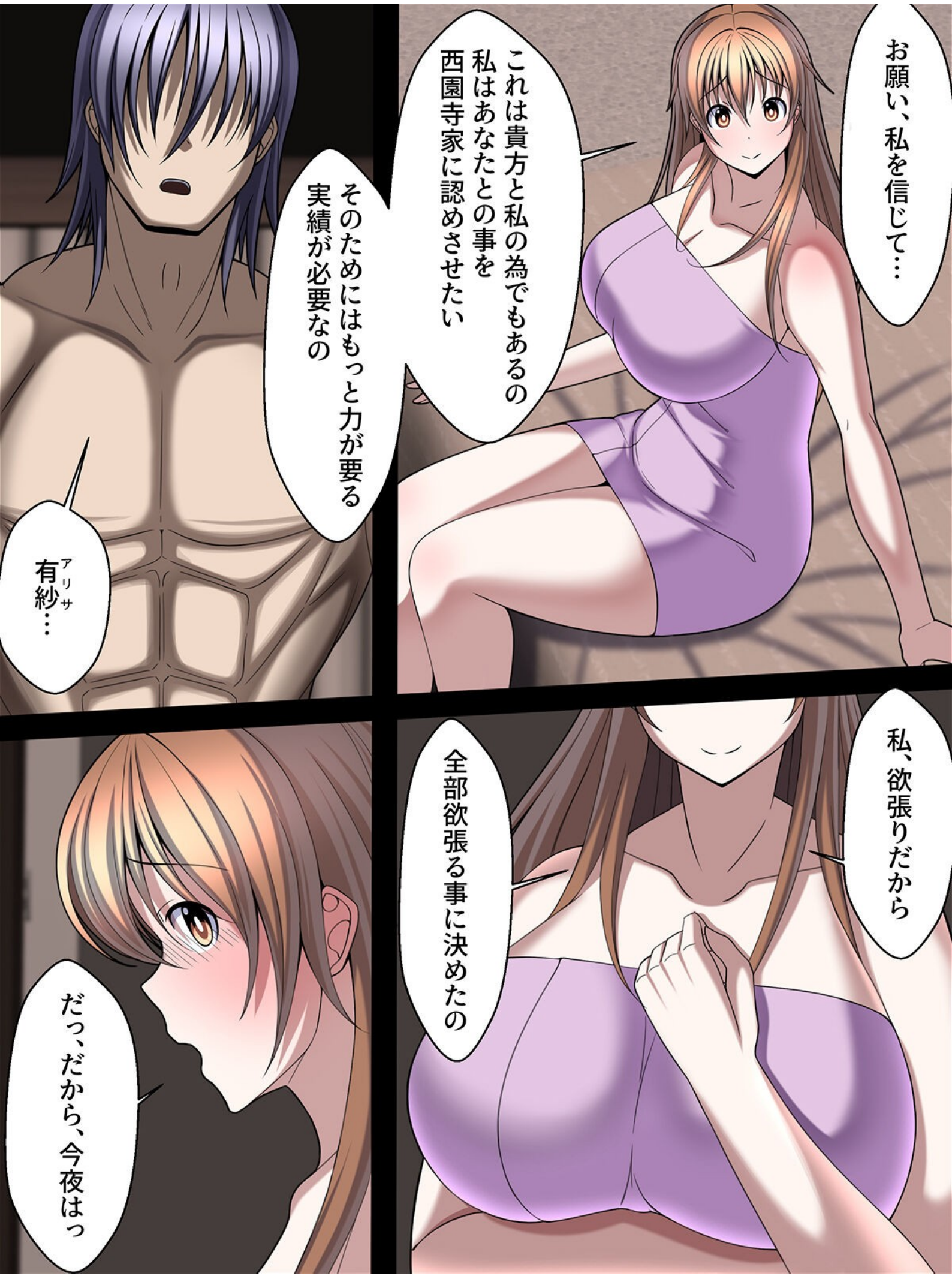
案外皆、その新しいトップとやらに絆されちゃってたりしてね
アンタも気を付けなさいよ～？人一倍性欲強いんだからぁ
ちょっ！冗談じゃないわよ！
私、身持ちは固いんだからねっ！彼以外には心も身体も許しませんっ！


冗談よ、とはいえアンタも良家のお嬢様なんだから
こんな世の中なんだしちゃんと気を付けないとだめよ？彼とのことも…ね
ちゃんと分かってるわ
私だって怪人化なんてしたくないもの
だといいんだけどね


大丈夫よ、配属先が変わったって、
会えなくなるわけじゃないんだし
それにもう、「アレ」も止めたから。
そろそろまた始まるはず…
彼、喜んでくれるよね♥
トクン
トクン


ねぇ悟(サトル)
転属の件、明日正式に辞令を受け取る事になったから
そっか、受けることにしたのか
なんかエリート街道まっしぐらってかんじだなー
ふっふっふ
私、優秀ですから！


まぁ、その…気を付けろよ？
あそこのトップは…
心配してくれてるんだ？
まぁ、容姿も選考基準に入ってるって話だし
色々心配よね～、特に私は局長の好みドストライクらしわよ？
俺は本気で心配してっ！
分かってる、
何かあったらすぐ連絡するし
すぐ辞める。
私もちゃんと考えてるから


お願い、私を信じて…
これは貴方と私の為でもあるの
私はあなたとの事を
西園寺家に認めさせたい
そのためにはもっと力が要る
実績が必要なの
有紗（アリサ）…
私、欲張りだから
全部欲張る事に決めたの
だっ、だから、今夜はっ

貴方の愛が
沢山欲しいな♥
ズッ…
タプッ
タプン
アリサ…ッ
そんなこと言われたら俺っ！
ビクッ！
ビクッ
ガ
アリサっ！
バッ
きゃあっ！

チュッ♥
チュパ♥
チュム♥
ビクッ
アッ
ああん♥
あっ♥悟う、愛してる♥
チュッ
ビクッ
アンッ!
ハッ
ひゃうっ♥
ソコはっ♥乳首はだめぇっ♥
ビクッ
ビクッ
チュッ♥
レロ
レロ
チュッ

サトルぅ、私　もう我慢できないかも♥
もう来て♥私のナカに熱いの入れてぇ♥
ハッ
ハァ
ハァ
ハァ
モワァ～
カパァ♥
いいよ、一気に奥まで来て遠慮しなくていいから♥
よしっ、入れるよ　アリサ。
ビクッ
クチッ…
っん…　クる…
サトルのが奥までっ…！

あんっ♥あああああん♥
イイよサトルっ！もっとっ！もっと愛してっ！
アリサっ！やばいっ！
いつもよりうねって、吸い付いてくるっ！
パコッ
パコッ
ビクッ
ビクッ
アン♥
ハァ♥
ハッ
どう？いつもとちょっと違うでしょ？
私、今日はスゴイんだから♥
ぜ～んぶ搾り取ってあげるわ♥
くぅっ！いれたばっかなのにっ…
もうやばいっ！
ふふ♥
逃がさないわよぉ～
ハァ
ハッ
ギュ♥

出そうなの？
いいよ全部ぴゅっぴゅしよ？
ぐっ！
まだ大丈夫だっ！
我慢しないで、ね？
ナカに全部頂戴♥
サトルのセーシ♥
ほら、手伝ってあげるから♥
ちょっと刺激強いかもだけど♥
ビクッ
うわっ！アリサ待てっ！
それはマジでやばいっ！
クリ
クリ
キュッ
キュッ

だっ　大丈夫!?
サトルっ!やりすぎちゃった!?
ごめんアリサ…
マジで良すぎて…
ビクッ
ビクッ
ドクッ
ドクッ
アリサ…俺も、
愛してる…アリサ
トクン♥
トクン
ギュ♥
トクッ
私はいいから、好きなだけ出して♥
ほら、ぎゅってしてあげる、
愛してるわ、サトル♥

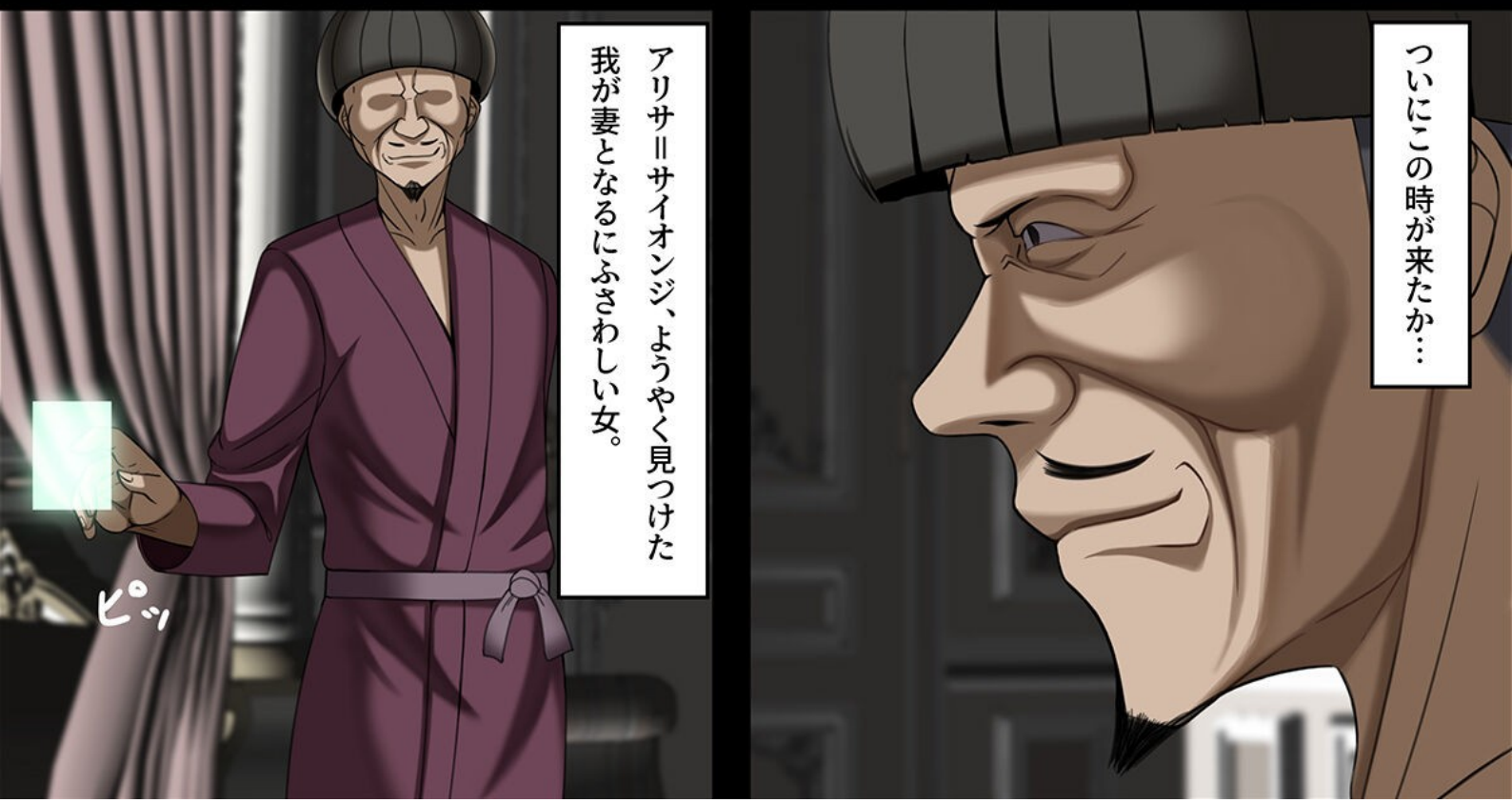
ごめん、ありさ…
いいってば
疲れてるんでしょ？
気にしてないから、ね？
ねぇ…悟
あのね…
どうした？
うん
えっと…
どうしたんだよ？

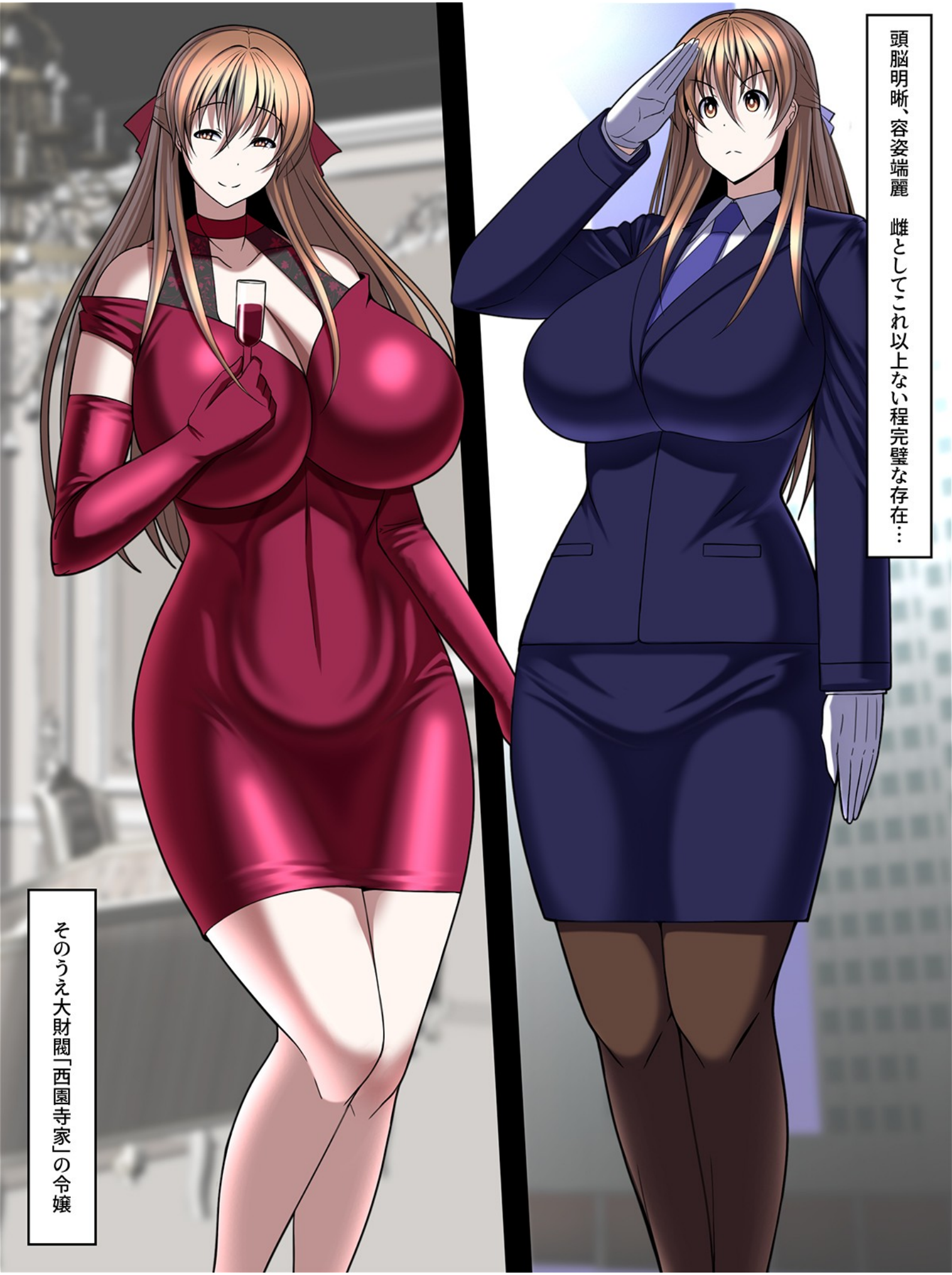
私ね、
高精度避妊薬（ピル）、もう飲んでないの
!!
まだ始まってないけど
多分もうすぐアレ再開すると思う…
だから、転属先で落ち着いたら
私、貴方の…

お勤め中失礼いたします、閣下。
アリサ＝サイオンジの件でご報告がございます。
ああ、かまわんよ。
続けたまえ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
アンッ
アンッ
アンッ
アンッ

本日、転属に関して全ての準備が整いました。
明日中に投薬を行い「儀式」の最終調整をいたします。
よろしい、ただし、くれぐれも丁重に扱いたまえよ
承知しております閣下では、失礼いたします。
パン
アンッ
アッ
アヌン
ハッ
ンッ
ギ
ギンッ
アッ
イクゥ♥
ビクッ

ハァ
ハァ
ハァ…
ビクッ
ビクッ

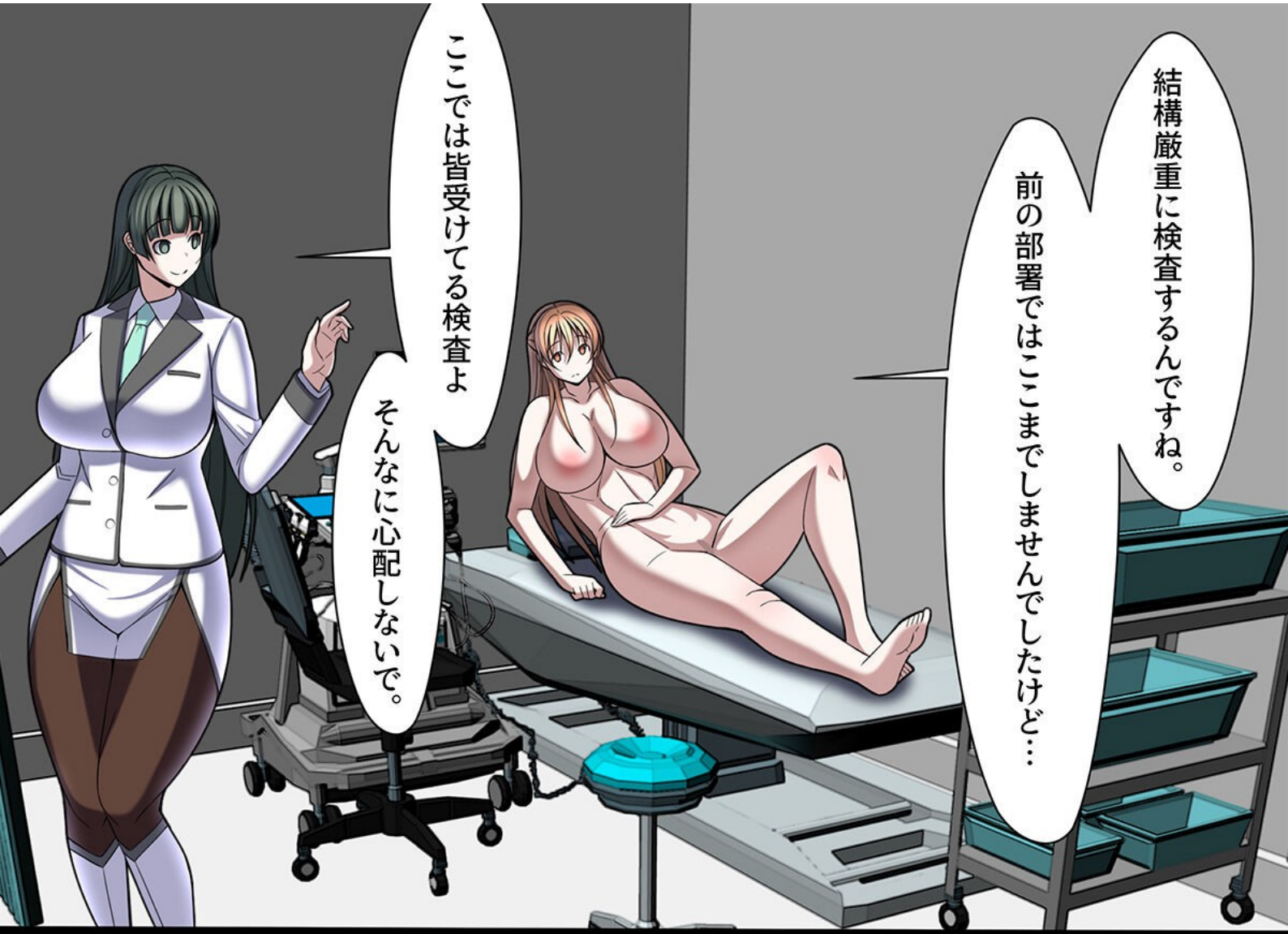

ついにこの時が来たか…
アリサ＝サイオンジ、ようやく見つけた我が妻となるにふさわしい女。
ピッ


頭脳明晰、容姿端麗　雌としてこれ以上ない程完璧な存在…
そのうえ大財閥「西園寺家」の令嬢

素晴らしい、必ず私に屈服させてやるぞ。
そして君の全てを私が手に入れるのだ…
嗚呼…、早くその豊満で美しい身体を味わいたい…

クックック、アリサ…君はもう私のモノだ。

っ!?
何かしら…
なんだか悪寒が…
ゾワ
あっあの！
まだ服着ちゃいけませんか？
次の検査で最後だから
もう少し我慢してね


結構厳重に検査するんですね。
前の部署ではここまでしませんでしたけど…
ここでは皆受けてる検査よ
そんなに心配しないで。

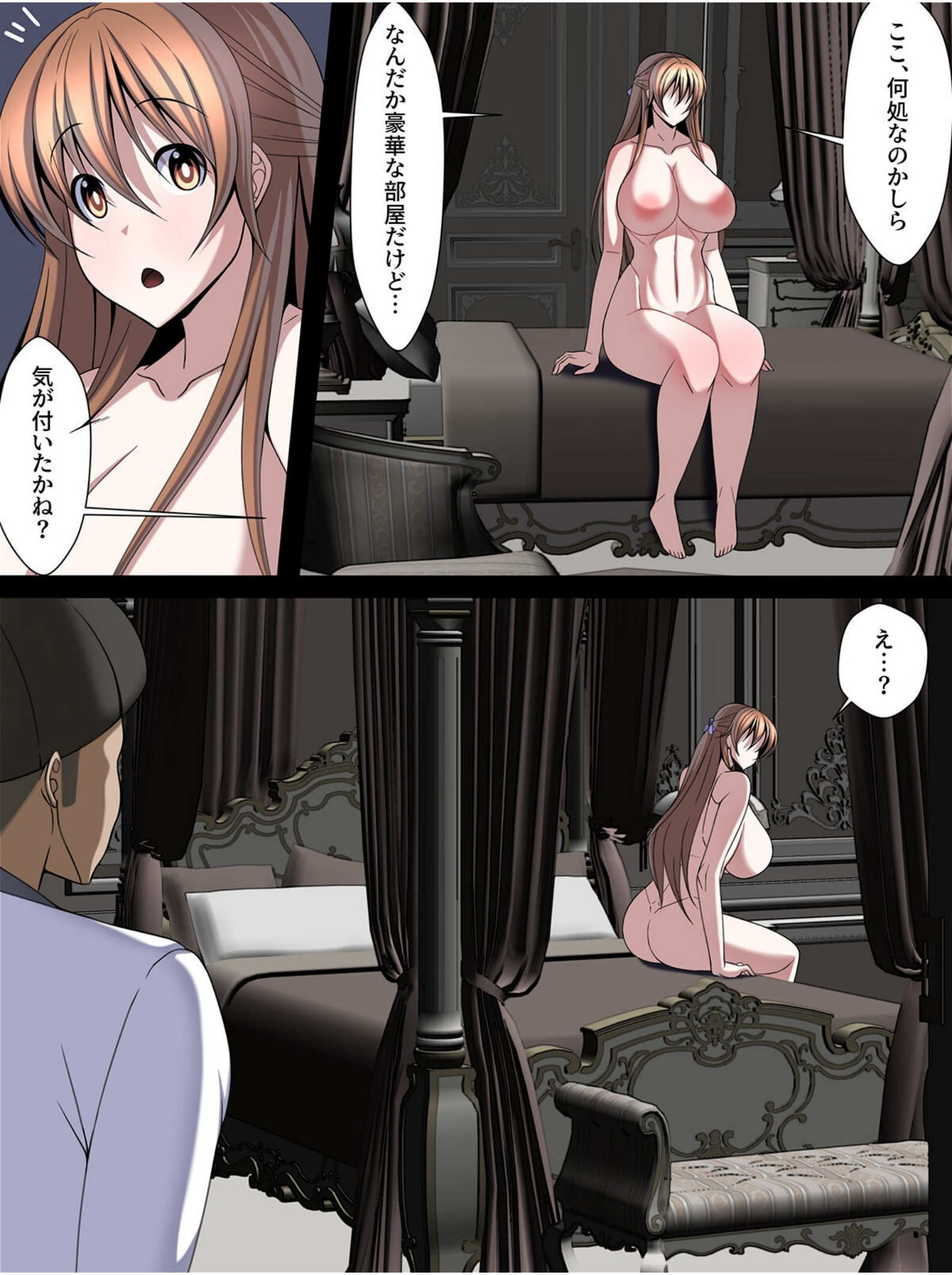
っ痛!?
なっなんですかそれは!?
ビクッ
チクッ
特別な薬よ
この後の「儀式」のための
大丈夫、すぐに馴染むわ。

儀式…？
一体何の話を…
クラァ…
だめ…意識が…
ハァ…
さぁ、ゆっくりと横になって
しばらくおやすみなさい…
ハァ…
うっ…サトル…私…

うっ…ん

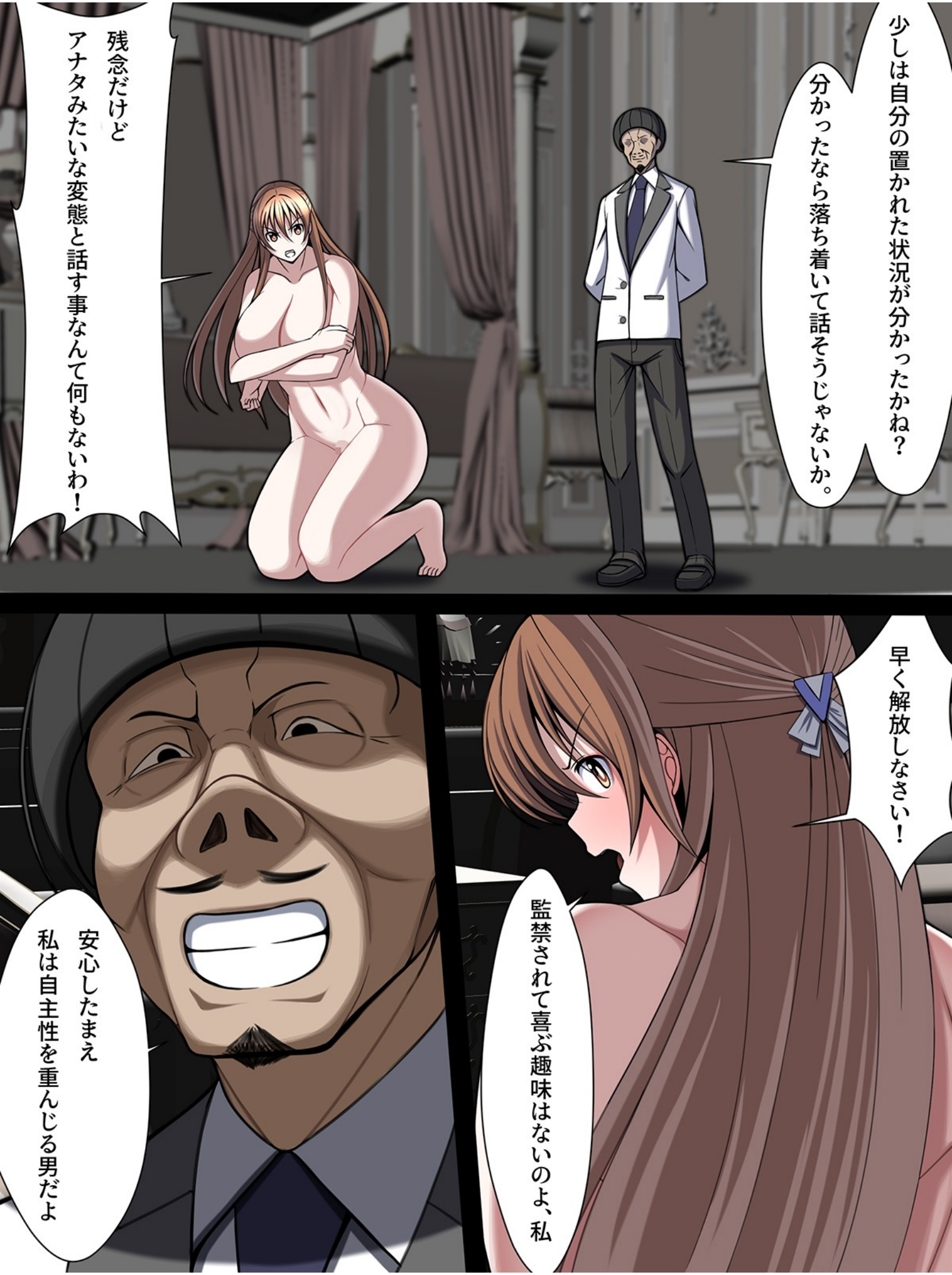
あれ…私

意識を失って…それから…？


ここ、何処なのかしら
なんだか豪華な部屋だけど…
気が付いたかね？
え…？

初めまして、アリサ君
この時を心待ちにしていたよ
あなたは誰なの!?
それにここは何処!?
ははは、自分の状態より
居場所の方が心配なのかね？
えっ…
タプ
タプ

状態って…
っ!?
っや!?
タプン
タプン
いやっ!?
みないでぇ!?


少しは自分の置かれた状況が分かったかね？
分かったなら落ち着いて話そうじゃないか。
残念だけど
アナタみたいな変態と話す事なんて何もないわ！
早く解放しなさい！
監禁されて喜ぶ趣味はないのよ、私
安心したまえ
私は自主性を重んじる男だよ

っ！ふざけた事を！
望んで此処に居続けるとでも!?
すぐにそうなる
というだけの話だよ
酷い妄想癖だわ
もう手遅れみたいね

そう…アナタが新しい責任者ね！
他の女性にもこんな事をして口封じしてるのね！
ドクン
ドクン
許さないわよっ！
絶対に全部悪事をあばいて…っ！

ドクン…

あ、れ…
身体が動かない…
ドクッ
ドクン
熱いっ！身体がっ　変だわっ
ハァ
ハァ
ハッ
ハァ
ハァ
どうしちゃったの私っ
ドクン
早く立ち上がらないとっ！
ドクーン
ハッ
ハッ
ハァ
ハァ
ハッ
ハァ

ズズズ…

くっくっく、
因子が効いてきたか
しっかり私好みに使い込んでやるからな…

っく、離しなさい！
安心したまえ
優しくシてあげよう
この変態！
絶対許さないんだから！
さぁ、
そろそろ仕込みを始めるぞ
いいぞ、その調子だ、
そうでなくては堕とし甲斐がないからな！
あんっ！
ドーン

さぁ、愛する男にお別れはすんだかね？
ハハハハハッ!!

嫌っ！止めて！
卑怯者っ！
助けてっ！サトル!!
いやあああああ！
パーン
ギシッ
パーン
ギシッ
パーン
ギシッ
イヤッ
ハッ
アッ
アッ
アッ
アン
ビクッ
ビクッ
んおっ！
いぐうううううううう!!
ビクッ
ビクッ

どうだ？
人間の雄よりよほどイイだろ？
キシッ
ギシッ
あ…ん…
何を言っているの…？
それじゃまるで…
アン
アッ
ギシッ
ビクッ
ビクッ
ギシッ
おっと、少し喋りすぎたかな。
まぁ、すぐに君もこちら側に来る
パンッ
パンッ
あっ、待って！
今はダメっ！感じちゃうっ！
アン
アン
パンッ
ギシッ
アン
ソン

私…どうしちゃったの…
彼との時だってこんなに…
身体が求めちゃうっ
ハッ
ハァ
ハッ
ハァ
ズズズ…
ビクッ
ビクッ

さぁ、アリサ
私に全てを捧げるのだ…
お前の身も心も捧げるのだ…
捧げる…身も心も…
でも…私には愛する人が…愛する人…？
ハッ
ドクッ
ハァ
ハァ
ドクン
ドクン

っやばい！今私何考えてたのっ！
この男普通じゃない、私の身体だって…
ハァ
ハッ
ドクン
ドクン
ハァ…
ドクッ
ハァ
気をしっかり持つのよっ！

無駄だアリサ、自分の非力さを理解し
力ある雄に屈服するのだ、私に服従しろ
イヤっ！イヤよ！
絶対アナタなんか認めないっ！

止めてっ！
これ以上されたら、私おかしくっ
自分が自分じゃなくなっちゃう！
受け入れろ…感じるままに
雌の本能に従うのだ…
ビクッ
ズブ…
あ、あああああ
クる、奥までクるぅ！
ビクッ
ズブ
ビクッ

あぐっ！痛いっ！力任せにシないでっ！
子宮がっ！ナカが壊れちゃう！
ビクッ
ハッ
アン
パーン
ハァ
パーン
ビクッ
アン
パーン
ナカの形変わっちゃうっ!!
ビクーン
ビクン
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ビクッ
んっ…抜いて…もう覚えちゃう…
彼以外のオチンポ覚えちゃうよぅ…

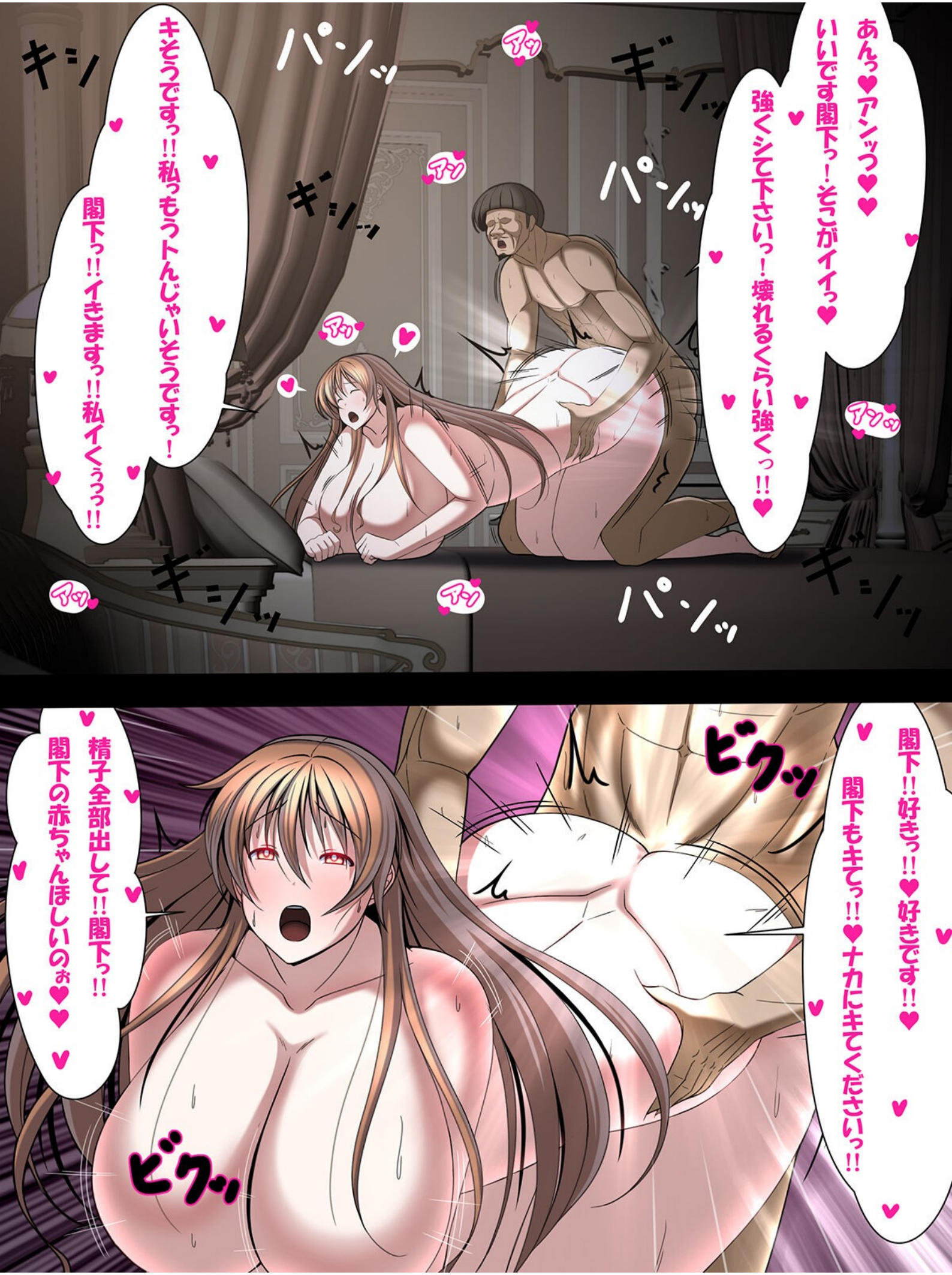
もうだめ…感じちゃうっ！
ダメなのに…っ　オマンコ感じちゃうう
強いのっ！このオチンポ相性良すぎてっ！
全然抵抗できないのっ！
アッ
ハッ
ヌチュ
ボン
ヌチュ
アッ
ヌチ
イイッ
屈服しちゃうっ！
オマンコ屈服しちゃうっ！
気持ちいいっ♥
オチンポ気持ちいい!!
イクッ
クチ
ハッ
クチュ
ダメッ
ニュル
ハッ
飛ぶっ！我慢できないっ！
ごめんなさいサトル…
もう私この人にっ！
イクッ

ビクッ
屈服雌マンコになるぅ!!
ビクッ
ビクッ
キュン
ジュワ
チュワ
キュン

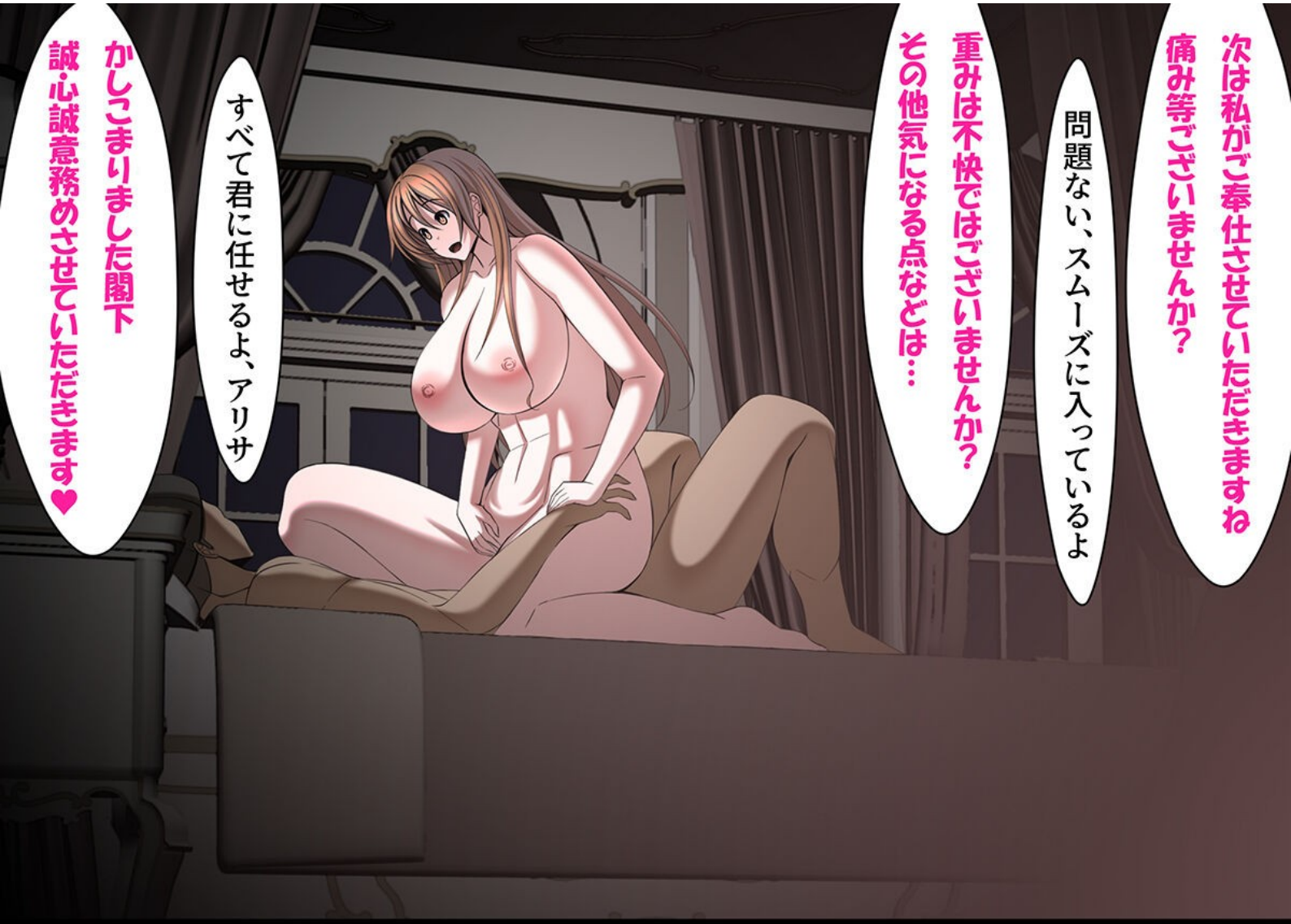
分かるぞアリサ
今イったな？屈服したな？
それはっ…
でも気持ちよくて、こんなの初めてでっ…
ハァ
ハッ
ハァ
ハッ
ハァ
いいんだよアリサ、何もおかしなことはないんだよ
君のように美しく優秀な雌は雄も選ぶべきなんだ
君が悪いわけじゃない、
悪いのは君を満足させられない男の方だ。
そう…よ、
私は悪くない…強い雄がいいだけ…
私優秀なんだもん…雄だって…選ぶべき…私は悪くない…
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ズズズ…
ハァ
ハッ
ハァ
ハァ
ハァ

この人なら…
私を満足させてくれる…
屈服させてくれる…
ハッ
ハァ
ハッ
ハァ
もう戻れないっ、戻りたくないっ!!
ずっと此処で支配されていたいっ…
アッ
ハァ
ハッ
ウッ
尽くしたい…、この人に尽くしたいっ…
強くて逞しい雄に溺れたいっ
ビクッ
ビクッ
ヒクッ
ああ…こんな気持ち本当に初めて…
好きになりすぎて、ドキドキがとまらないよぅ…

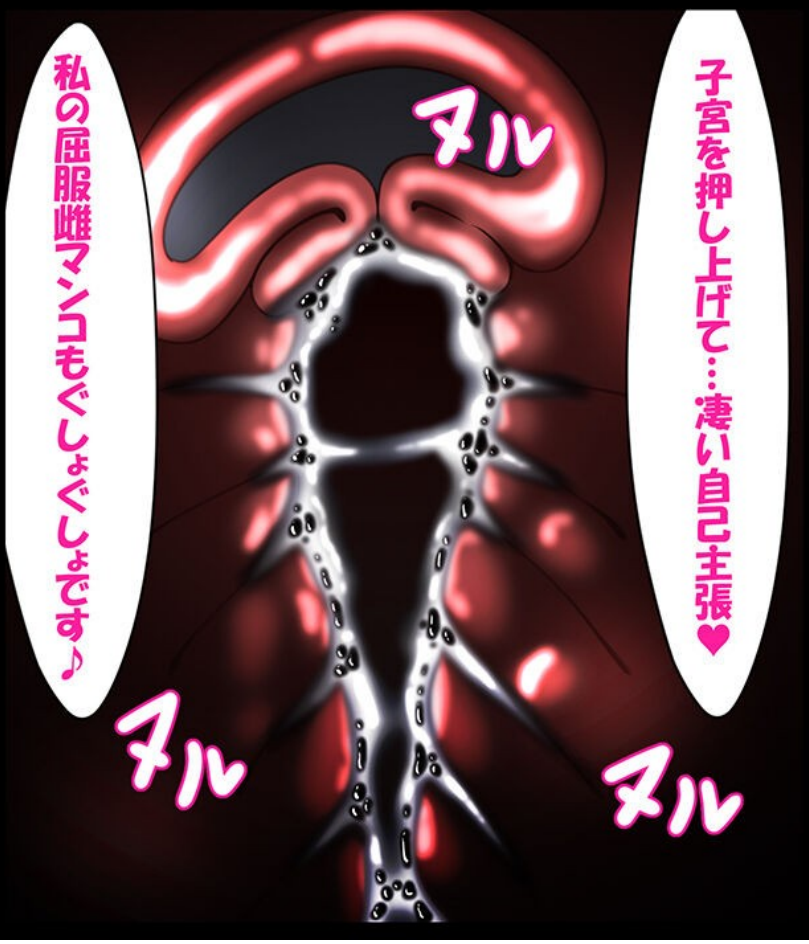
ああ…好き…
頭がトロけそう…♥
ウムッ
ンッ
チュッ
強い雄に支配されるのってこんなに…
ハムッ
チュル
ヂュル
ンクッ
こんなに…
プアッ
こんなに、
ハッ
トクン
ハァ
ハァ
トクッ
トロォーン…
ハァ
トクッ
ハァ…
甘美で幸せだったなんて…♥


あんっ♥アンッっ♥♥
いいです閣下っ！そこがイイっ♥
強くシて下さいっ！壊れるくらい強くっ!!♥
キシ
パンッ
ギシッ
アッ
アン
パンッ
ギシッ
アン
アッ
キそうですっ!!私っもうトんじゃいそうですっ！
閣下っ!!イきますっ!!私イくぅっ!!
ギシッ
アッ
アン
パンッ
ギシッ
閣下!!好きっ!!♥好きです!!♥
閣下もキてっ!!♥ナカにキてくださいっ!!
ビクッ
精子全部出して!!閣下っ!!
閣下の赤ちゃんほしいのぉ♥♥
ビクッ

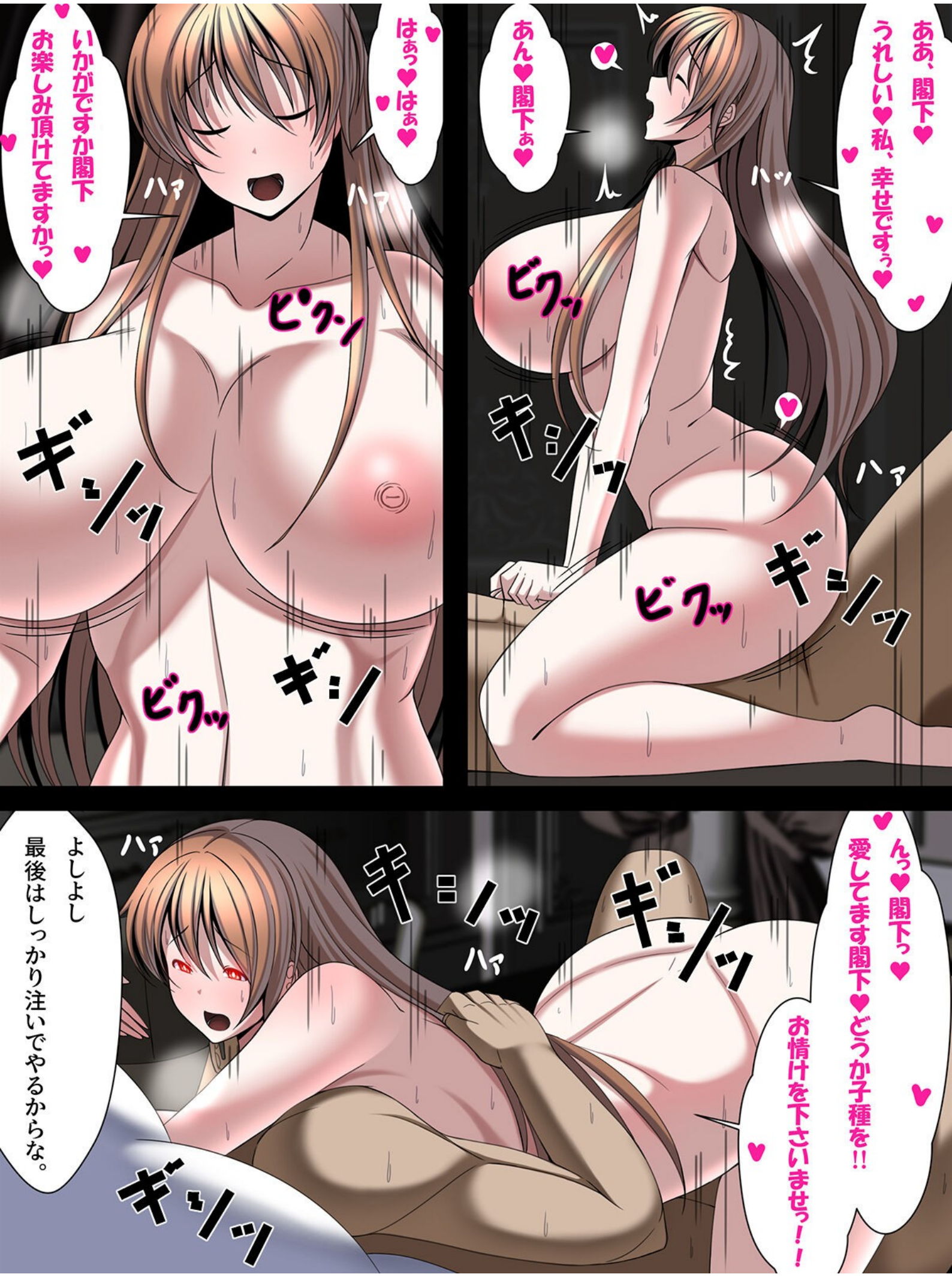
ウッ!!
射精ですね閣下
どうぞお出しください！
ビクッ
ビクッ
もっと腰落としたほうがいいですか？
くねらせ方はこのくらいでいいですか？
ああっ…最高だアリサ
少しこのまま出させてくれ
ドクッ
ドクン
かしこまりました閣下
どうか存分に射精をお楽しみください
うっく…これほどの名器になるとは…
やはり私の眼に狂いはなかった。
キュン
キュンッ
光栄です閣下、私も閣下に御使用頂けて
とても幸福です。
これからはいつでもこの穴をご利用下さい
閣下専用に手入れしておきますので♥


次は私がご奉仕させていただきますね
痛み等ございませんか？
問題ない、スムーズに入っているよ
重みは不快ではございませんか？
その他気になる点などは…
すべて君に任せるよ、アリサ
かしこまりました閣下
誠心誠意務めさせていただきます♥

すこしずつ動きますね
んっ♥まだまだお元気そうですね、閣下♥
ヌッコ
ヌッコ


子宮を押し上げて…凄い自己主張♥
私の屈服雌マンコもぐしょぐしょです♪
ヌル
ヌル
ヌル

ふぅ♥んふ♥
すごい…本当に逞しいです。♥
ギシッ
ギシッ
ギシッ
随分と溜まってたんだな
それなりにヤッてたのだろう？
ギシッ
あ～アレはだめですね、早すぎてもう…
アイツばっかり気持ちよくなって♥
閣下とは比べるのもおこがましい♥
閣下こそ私の主に相応しい雄でございます。♥
どうか私をお傍に…♥
私の全てを使って
お役に立ってみせます。♥
ああ、期待しているよ、
私の為に
存分に働いてくれたまえ


ああ、閣下♥
うれしい♥私、幸せですぅ♥
あん♥閣下ぁ♥
ビクッ
キシッ
ハァ
ビクッ
ギシッ
はぁっ♥はぁ♥
いかがですか閣下
お楽しみ頂けてますかっ♥
ハァ
ハァ
ビクン
ギシッ
ビクッ
ギシ
んっ♥閣下っ♥
愛してます閣下♥どうか子種を!!
お情けを下さいませっ!!
ハァ
キシッ
ハァ
ギシッ
よしよし
最後はしっかり注いでやるからな。
ギシッ

閣下…♥
もっと、もっと深く繋がりたい…
もっと尽くして、もっと愛されたいっ
もっと捧げさせてほしい…
ハァ
ハッ
ドクン
ドクン
ズズズ…
もう気持ちが収まらないっ
なんだろうこの感じ…
何かが溢れてくるような…
ハッ
ハァ
ドク
ドクン

あっ!!あああああぁぁっ!!
ビクッ
ドクン
ビク
閣下っ!!身体がっ!!身体が変ですっ!!
ドクン

おおっ!ついに来たかっ!!
ビク
ビクッ
ドクン
いいぞアリサ、これでお前は完全に私のモノだっ!!
ビクッ
ドクン

溢れるっ!!身体がはちきれそう!!
ハッ
ハァ
ドクン
ビクッ
変わるっ!!身体がっ
ハッ
ハァ
ドクン
ビクッ
ドクン
私のすべてが変わっていくっ!!
ハァ
ビク
ドクン
ハッ
ビクン
ドクン
この高揚感…なんていい気分なの。
最高の気分だわ♥
ハァ
ハァ
ハァ
怪人化がこんなに素晴らしかったなんて
ドクン

見て下さい閣下♥
立派なツノがっ♥これでずっと、永遠にオマンコできますっ!!
閣下!!愛してます!!閣下ぁ♥!!
ビクッ
ビクッ

数週間後…

ふふ、今日の男もチョロかったわね
閣下にいい情報をご報告できそうだわ。
ちょっと色気を見せたら
ペラペラ喋ってくれて…
ボイン
ボイン
プリン♥
本当に、閣下以外の　それも人間の男なんてくだらないわ

本当に不快だわ、今日はもう切り上げて…
アリサッ!!
よかった
間に合った
…？
アリサずっと忙しそうだったし
少しだけでも
話せないかと思ってさ
ああ、そういえばいたわね
こんなヤツ…

ごめんねサトルぅ
私今とっても忙しくてぇ
なかなか時間が取れないの～
いや、そうだよな　ごめん
ちょっとさみしくてさ…
ヂチ、くだらないことで呼び止めないでよ
とはいえ、まだこいつは使えるわ
閣下のためにもまだ切るわけにはいかないわね…
アリサ…君には…

君には、
私の子を産んでもらうつもりでいる。
だがその前に頼みがあるのだ。
はい、閣下
なんなりと、
なんなりとお申し付け下さい
閣下のためでしたら、
命すら惜しくはございません。
どうぞ、遠慮なさらず
ご命令下さい。

我々怪人には未だ敵が多い
私の派閥も強固ではあるが
怪人対策課も無能ばかりではない
そこで君に…
諜報活動…ですか？
理解が早くて助かるよ
なぁに、君になびかぬ男などいないさ
角を隠せば、まさか君が怪人だとは
誰も思うまい。
はい閣下、
必ずお役に立ってご覧に入れますっ!!♥

ご期待ください閣下♥
も～、しょうがないなぁ～
私もちょっとお話したかったし時間取ってあげる♥
本当か!?
うん、色々聞きたいこともあるし…「色々」ね…

じゃあ、ちょっとお話しよっか。
二人っきりで♥
全ては閣下と私の未来のために…♥
END♥

69%